

令和 6 年度 事業報告書

社会福祉法人
千早赤阪村社会福祉協議会

1. 法人運営事業

○理事会、評議員会等の開催

＊理事会

年 月 日	場 所	内 容
令和 6. 6. 5	いきいきサロン くすのき多目的室	第1号議案 令和5年度千早赤阪村社会福祉協議会事業報告 及び決算報告について 第2号議案 役員候補者の選出について 第3号議案 評議員候補者の推薦について 第4号議案 評議員選任・解任委員会の開催について 第5号議案 定時評議員会の日時・場所、議題等について
令和 6. 9. 19	いきいきサロン くすのき多目的室	第1号議案 令和6年度善意銀行助成事業について 報告第1号 会長による自己の職務執行の状況について
令和 7. 3. 10	いきいきサロン くすのき多目的室	第1号議案 令和6年度千早赤阪村社会福祉協議会補正予算 (案)について 第2号議案 令和7年度千早赤阪村社会福祉協議会事業計画 及び予算(案) 第3号議案 評議員会の日時・場所、議題等について 第4号議案 役員等賠償責任保険契約締結について 報告第1号 会長による自己の職務執行の状況について

＊評議員会

年 月 日	場 所	内 容
令和 6. 6. 20	いきいきサロン くすのき多目的室	報告第1号 評議員の選任について 第1号議案 令和5年度千早赤阪村社会福祉協議会事業報告 及び決算報告について 第2号議案 役員の選任について
令和 7. 3. 24	いきいきサロン くすのき多目的室	第1号議案 令和6年度千早赤阪村社会福祉協議会補正予算 (案)について 第2号議案 令和7年度千早赤阪村社会福祉協議会事業計画 及び予算(案)について

＊評議員選任・解任委員会

令和 6. 6. 5	いきいきサロン くすのき多目的室	第1号議案 評議員の選任について
---------------	---------------------	------------------

＊監事監査会

令和 6. 5. 21	いきいきサロン くすのき多目的室	千早赤阪村社会福祉協議会 法人運営、会計監査の実施
----------------	---------------------	---------------------------

○啓発及び広報活動

- ・村広報「ちはやあかさか」での社協専用ページ(1ページ分)を活用し事業説明や地域の催し等を掲載した。
- ・ホームページを活用し事業の周知を行った。
- ・健幸ふれあいまつりに参加し、広報活動を行った。

○社会福祉協議会会員募集

- ・実施期間 令和6年10月1日から令和7年3月31日まで実施した。
- ・募集方法 地区・自治会、地区福祉委員会等の協力により実施した。
- ・募集目的 地域に密着した福祉活動をより充実させる為、自主財源の確保を図った。
- ・会費の内訳

賛助会費	(1, 387件)	693, 255円
特別会費	(53件)	159, 000円
組織構成会員	(9件)	45, 000円
合 計		897, 255円

○善意銀行運営事業

- ・善意銀行 令和6年度善意銀行寄付金 (17 件) 620, 606 円

○善意銀行助成事業

善意銀行を活用し、地域福祉の充実を図ることを目的に実施。

内容として福祉活動に対する助成を行い、地域サロンの開設、地域福祉の充実のための事業や地域コミュニティの醸成事業を図ることができた。

◆事業実績

地区名	事業名	助成額	助成金の使途
上東阪	防災・減災ソフト事業	40, 000円	地区公共施設、水路等の清掃に使用する除草剤用噴霧器の購入
下東阪	地域福祉推進事業	50, 000円	地域サロン時に使用する冷蔵庫を購入
中津原	地域サロン運営事業	48, 000円	地域サロン時に使用するコーヒークップ、パイプ椅子、輪投げを購入
千早	地域サロン運営事業	50, 000円	地区施設内の証明設備の一部を取り替え
吉年	地域福祉推進事業	50, 000円	地区公共施設の屋外掲示板の取り替え
小吹	地域サロン運営事業	22, 000円	地域サロン時に使用する座敷チェアを購入
水分	地域福祉推進事業	50, 000円	共同使用道具物置の購入
二河原辺	地域福祉推進事業	16, 000円	地域サロン時に使用する湯呑の購入
桐山	防災・減災ソフト事業	50, 000円	地区公共施設の屋外用シンク及び作業台の購入
合 計 (9 地区)		376, 000円	

○救急医療情報キット(安心キット)配付 令和6年度配付 12件 (総数 1,123件)

○心配ごと相談・児童相談

民生委員児童委員協議会の協力を得て、住民が抱える悩み等の相談に応じた。

- ・相談員 民生委員児童委員、主任児童委員
- ・相談日 毎月第1木曜日 午後1時から3時
- ・開催日数 11日
- ・相談件数 心配ごと相談 1件、児童相談 0件

○団体事務局及び運営支援

事務局として関係機関との調整会議や研修会の企画運営及び経理支援を行った。

(民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、遺族会、赤十字奉仕団、ボランティア連絡協議会、献血推進協議会)

○災害時支援協定に基づく関係機関との連携

被災地の状況とニーズを迅速かつ的確に把握し、効率・効果的な支援活動が行われるよう、関係機関の連携を図った。(協定先: 富田林ライオンズクラブ、南大阪みささぎライオンズクラブ、大阪いずみ市民生活協同組合)

6月24日

「災害時におけるボランティア支援等に関する協定に係る意見交換会」

富田林ライオンズクラブ・富田林青年会議所・富田林市社協・河南町社協・太子町社協・村社協による災害発生時の具体的支援内容等の意見交換を行った。

2. 小地域ネットワーク活動推進事業

地区福祉委員会において、地域住民の協力を得て、見守り・声かけ訪問活動等、個別支援を実施した。また、地域福祉活動の活発化を図るため地区単位のネットワーク活動を展開し、住民の参加と協力により、支え合い・助け合い活動を目的としたグループ援助活動を実施した。

○活動延べ件数

	延べ人数・件数	内 訳
個別援助対象者数	6,969人	福祉委員友愛訪問、配食ボランティア声かけ活動等の対象者数
グループ援助活動開催件数	326回	地域サロン活動、いきいきサロン喫茶活動、各地区世代間交流会等の開催件数
サロン等参加者数	6,526人	地域サロン、高齢者のつどい、世代間交流会等の参加者

○地区福祉委員会の事業

赤阪・千早地区福祉委員会において、小地域福祉活動交流事業(高齢者のつどい、世代間交流事業、安否確認を兼ねた友愛訪問)を実施した。また、小吹台地区福祉委員会においては、茶話会、七夕、木工教室等を実施した。

○地域サロン活動

8地区(川野辺地区・桐山地区・二河原辺地区・中津原地区・吉年地区・上東阪地区・下東阪地区・千早地区)でサロン活動を実施した。

○地区・自治会が主体となった福祉事業が各地域で展開され、地域福祉の推進が図られた。

○ボランティアセンター運営事業及びボランティア連絡協議会支援

千早赤阪村におけるボランティア活動を推進するため、誰もがボランティア活動に参加できる体制の整備に努め、地域福祉の推進・社会奉仕活動を実施した。また、ボランティアの育成・啓発活動支援に努めた。

・ボランティア活動の広報

村広報「ちはやあかさか」にボランティア情報を掲載した。

・令和7年3月末現在、ボランティアグループ7団体、130名が登録。

ボランティアグループ名	登録人数	主な活動内容
配食ボランティア	60名	お弁当配達時に安否確認声かけ活動
スマホボランティア	10名	ICT 推進における先駆けとなる活動
あじさい	23名	いきいきサロンくすのきで喫茶活動
くりんそう	13名	いきいきサロンやまゆりで喫茶活動
かりん	8名	高齢者施設等での読み聞かせ活動
山ゆり	8名	やまゆり作業所の軽作業を手伝い
みつば会	8名	食生活に関する知識を広める活動

※複数のグループに登録している方を含む延べ人数

3. 日常生活自立支援事業

認知症高齢者や知的障がい、精神障がい等により、判断能力が十分でない人を対象に、福祉サービスの利用支援や日常的金銭管理、定期預金類等の預かり援助を実施した。

- ・相談及び支援件数(延べ) 7件
- ・利用者数(令和7年3月末) 4名うち2名生活保護受給者
- ・サービス提供のための支援訪問回数 70回
- ・成年後見制度利用支援 1件(契約利用者以外も含む)

○相談件数内訳

内 容	本事業の利用に関するもの				合 計
対象者数 事項	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	不明 その他	
問合せ件数(制度、事業について)	6	0	0	1	7
相談援助件数	0	0	0	0	0
合計	6	0	0	1	7

○契約者数等内訳

内容 \ 対象者数	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	合 計
① 前年度末利用者数	4	0	1	5
② 新規契約者数	0	0	0	0
③ 契約終了者数	1	0	0	1
④ 年度末利用者数①+②-③	3	0	1	4

○サービス提供のための訪問回数

事項 \ 対象者	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	合 計
総活動件数	57	0	13	70
うち生活保護受給者分	29	0	13	42

4. 重層的支援体制整備準備事業(移行準備事業)

地域共生社会の実現を目指し、対象者の属性を問わない相談支援・参加支援・地域づくり支援を一体的に実施するための体制構築を図った。複合化したニーズに対し重層的に支援できるような相談窓口の構築や関係機関との連携強化、新たな社会資源の創出等に取り組んだ。

○アウトリーチを通じた継続的支援

地域包括支援センターをはじめとする関係機関と連携し、要支援者への訪問支援や見守り強化等を行うことで一人も取り残さないきめ細やかな相談支援を実施した。継続的な支援が必要な場合は、定期的なアウトリーチを実施することで支援機関へつなぐことができた。

- ・庁内外連携会議への出席:3回
- ・新規相談者数:27名

○参加支援

配食サービス及びヤクルト愛の訪問事業を利用している一人暮らし高齢者に対する地域とのつながりづくりとして、地域サロンへの参加を呼びかけた。日中活動が必要と思われる対象者に対し、いきいきサロン(クラブ活動・ボランティア活動・ラウンジ利用等)の利用促進を図った。

○地域づくり支援

- ・子どもの居場所づくりイベントを朗読ボランティアかりんと企画し、チラシ作成や近隣小学校への周知活動を行った。
- ・地域での ICT 普及に向けたスマホボランティアの活動支援を実施した。生活支援コーディネーターと協働で意見交換会を開催し、今後の活動を検討した。
- ・地域の福祉活動が減少、衰退していることから、福祉委員会の会議において活動の効果や必要性を説明した。また、福祉委員に対して認知症の方への接し方について研修会を実施した。

5. コミュニティソーシャルワーカー事業(いきいきネット相談支援)

福祉サービスや支援が必要でありながら、福祉制度の狭間でサービスを受けることができない人などの相談にあたりとともに、問題等の解決に向けて関係機関・専門家等につないだ。また、要援護者のケース会議等に参加し、把握したニーズの共有、支援サービス等の協議、検討をした。

相談対象者	延べ件数	相談支援内容	延べ件数
1人ぐらし高齢者	370	福祉制度・サービスに関する相談(支援)	382
高齢者のみの世帯	107	生活に関する身近な相談(〃)	339
身体障がい者	5	健康・医療に関する相談(〃)	51
知的障がい者	9	生活費に関する相談(〃)	147
精神障がい者	157	就労に関する相談	1
一人親家庭の親子	8	財産管理・権利擁護に関する相談(〃)	6
その他地域住民・生活困窮者等	227	DV・虐待に関する相談	7
施設入所者	8	地域福祉・ボランティア活動に関する相談(〃)	9
昼間独居高齢者	36	子育て・子どもの教育に関する相談	1
関係機関	126	その他(会議等)	110
合計	1053	合計	1053

- ・研修会等に参加
- ・ケース会議、包括会議への参加
- ・関係諸団体との連絡調整
- ・生活困窮者支援に係るフードバンク OSAKA への食材受け取り、配達支援
- ・校長会に出席し、コミュニティソーシャルワーカー事業の説明
- ・スクールソーシャルワーカー(SSW)やこども園など児童関係の機関とも連携強化

6.生活支援コーディネーター事業

住み慣れた地域で、生きがいを持って過ごせるよう行政と連携を図り、介護予防になる取り組み等を地域と共に考え、地区行事に参加し情報収集を行った。また、地域とのニーズ調整役として、関係機関などと連携し取り組みの支援や発展に協力・支援した。

○地域での聞き取り及び情報提供

- ・地域サロン実施地区への訪問回数 29回(延べ)
- ・地区で開催される健康体操に出向き、交流を通してニーズ把握を行った。
- ・いきいきサロン利用者や喫茶サロン参加者に対して、生活課題を把握するためのアンケート調査を実施した。
- ・生活支援コーディネーター便りを発行し喫茶サロンにて手配りを行った。

○協議体の開催

千早赤阪村生活支援体制整備協議体会議を開催した。

今年度は、地域の高齢者のデジタルデバイト問題の解決を目指すため、スマホ教室で活動するスマホボランティアの活動内容の充実と、現在のスマホ教室終了後(令和8年度)の教室のあり方について話し合う協議体を開催した。

第1回:令和6年7月30日 テーマ「スマボラ座談会(意見交換)」

第2回:令和6年9月22日 テーマ「スマホ道場の今後の方針について」

第3回:令和7年1月14日 テーマ「新たなスマホ道場に向けての今後の取り組み」

7. 在宅福祉推進事業

ひとり暮らし高齢者等に対する配食事業及び愛の訪問(ヤクルト配布時の声かけ活動)事業による在宅福祉の向上を図った。

○支援型給食サービス事業

- ・配付対象者 ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、障がい者世帯等
- ・配 食 日 毎週火・木・金曜日
- ・調 理 者 春の家
- ・配 達 者 配食ボランティア
- ・利用者数 30名(令和7年3月末現在)
- ・調理食数 3,124食

○ひとり暮らし高齢者愛の訪問事業

配達員との交流により孤独感を和らげるとともに、安否確認と緊急対応に努め、見守りを強化することができた。

- ・訪 問 日 月・水・金曜日
- ・利用者数 23名(令和7年3月末現在)
- ・訪 問 者 東部ヤクルト配達員
- ・配 布 数 3,790本

○福祉車輛・車椅子貸出サービス事業

福祉車輛や介護機器(車椅子)を貸し出すことで、車椅子を使用されている方の通院等で本人や家族の負担を軽減することができた。

<貸出し実績>

- ・福祉車輛利用者数 4人(延べ 10人)
- ・車椅子利用者数 18人(延べ 27人)

8. 生活福祉資金等貸付事業

低所得者世帯等を対象に、安定した生活が送れるよう、一時的な経済支援や相談支援を行います。また次の各福祉資金の貸付に関わる業務を行った。

○貸付に関する相談件数(延べ)及び貸付した件数

種 別	相談件数	貸付件数
緊急小口資金	7件	1件

9. 緊急小口資金等の特例貸付の借受人へのフォローアップ支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における特例貸付を借り受けた世帯で、生活に困窮しており、支援が必要と考えられる世帯に対しフォローアップ支援を行った。

○支援内容及び件数

内容	件数
電話	9件
来所	6件
電話発信	2件
チラシ	72件

10. 指定管理施設運営(いきいきサロン管理・運営事業)

いきいきサロンやまゆり・くすのきの指定管理者として、管理業務を行い、高齢者等の生きがい活動、クラブ活動等の促進と住民の交流の場を提供した。また、利用者に対してアンケート調査を実施し、施設利用の促進を図った。

○いきいきサロン利用状況

(延べ)	使用団体数	貸部屋利用回数	貸部屋利用人数	喫茶利用者数
いきいきサロン くすのき	450団体	1,442回	6,129人	2,721人
いきいきサロン やまゆり	327団体	1,413回	7,014人	1,966人

○いきいきサロン利用者送迎事業

共同募金配分金を活用し、高齢者等を対象にいきいきサロンへの送迎を実施した。高齢者等の生きがい活動を推進し、健康の増進を図るとともにいきいきサロンの利用を促進した。

- ・送迎日 月・水・金曜日
- ・送迎回数 280回
- ・利用者数 228人

11. 募金運動の推進

○日本赤十字社活動資金募集事業

災害救護活動をはじめ国際活動、医療、血液事業、福祉事業などの幅広い事業を行う募金活動に協力を行った。

- ・実施期間 令和6年5月1日から6月30日
- ・募金方法 地区・自治会による戸別募金
- ・募金額 戸別募金 691,939円

○赤い羽根共同募金

- ・実施期間 令和6年10月1日から10月30日
- ・募金方法 地区・自治会による戸別募金、村内学校・役場関係施設の窓口に募金箱を設置。また、バッチ募金など、村内全域にわたって募金活動に協力を行った。

・募金の内訳

戸別募金	670,808円
バッチ	25,000円
学校募金	20,159円
募金箱	26,215円
ベンダー募金等	1,233円
合 計	743,415円

○歳末助け合い募金運動

- ・募金期間 令和6年11月1日から11月30日
- ・協力団体 地区・自治会、地区福祉委員会、民生委員児童委員協議会
- ・募金方法 地区・自治会による戸別募金活動等実施
- ・募金内訳

戸別募金	1,056,091円
法人、団体募金	40,000円
募金総額	1,096,091円

12. 社会福祉教育事業(小・中学生福祉体験推進事業)

共同募金配分金を活用し、村立小学校、中学校の福祉教育を支援した。

実 施 校	内 容
村立中学校	アイマスク・高齢者疑似体験、通学路の環境美化活動 など
村立赤阪小学校	車いすスポーツ体験、老人クラブと昔遊び体験の交流 など
村立千早小吹台小学校	陶芸・農業体験・国際交流・花ボランティアとの交流 など

13. 献血推進事業

献血の正しい知識や必要性についての啓発や、村内で献血の実施を図り、献血者の安定的な確保に努めた。

○献血推進協議会 会議の開催

- ・開催日 令和6年5月22日
- ・場所 いきいきサロンくすのき 多目的室
- ・案件 令和6年度事業計画・予算(案)について
地域献血の手伝い日程について
- ・研修 「献血の基本知識及び現状について」
大阪南赤十字血液センター南大阪事業所 中出氏・新井氏

○啓発活動

- ・村広報紙「ちはやあかさか」に献血実施日、献血の重要性、参加啓発記事の掲載を行った。
- ・献血ポスターを公共施設及び協力企業等に掲示啓発の活動を行った。
- ・新成人者に「はたちの献血」と題して献血の重要性と献血参加を呼びかけるため、二十歳のつどいに啓発パンフレット及び啓発物(シャーペン)の配布を行った。
- ・主たる在村企業主に献血の通知を行い、献血の重要性と従業員に対しての献血の参加の呼びかけ及び啓発を行った。(村内小中学校・企業28社に呼びかけ)

○移動献血車による献血の実施

(第1回)

- ・実施日 令和6年7月10日
- ・場 所 村役場横駐車場
- ・受付者 35名(採血者30名)

(第2回)

- ・実施日 令和6年12月18日
- ・場 所 村役場横駐車場
- ・受付者 27名(採血者25名)